

研究の背景・目的

木材生産を増産するためには、林内路網整備が必要不可欠です。県内では平成21年度に発行された手引き書「しまねで目指す道づくり」を参考に森林作業道の開設が進められていますが、開設後に路網が損壊するケースもあり、木材生産に支障をきたす可能性があります。そこで、森林作業道の損壊原因を解明して対応方法を検討します。



法面崩壊による落石

研究方法

損壊した森林作業道について下記の調査を行います。

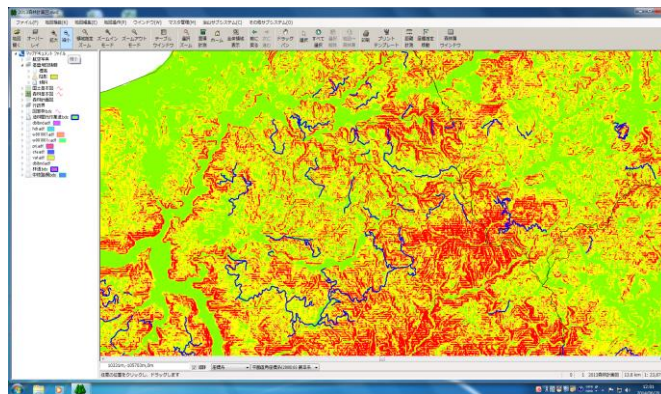
- (1) 損壊箇所の特定
盛土部、切り土部、排水施設、カーブ、丸太組施工箇所、施業方法
- (2) 損壊原因の調査
雨量、傾斜、土質、施工方法
- (3) 損壊箇所と被災影響範囲調査
崩壊範囲、土砂流出範囲
- (4) 損壊情報をデータベース化し、要因を分析します



切り土法面の崩壊



丸太組による盛土の締め固め不良



損壊情報を集積し、データベース化

研究成果の活用・今後の研究計画

この研究によって、森林作業道の損壊原因を明らかにすることで、危険箇所を回避する方法や損壊を防止するための技術的検討が可能となります。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 森林保護育成科

研究担当者 : 林晋平

問い合わせ先 : 0854-76-3823

E-mail : hayashi-shinpei@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 森林作業道の損壊箇所調査 (研究期間 H26)

